



エイム・イングリッシュ・スタジオ
〒592-8346堺市西区浜寺公園町2丁141-26
Tel: 072-263-0890 Fax: 072-262-3869

②パニックにならないで!

'Don't Panic' by TIMOTHY W. POLLOCK, M.A.

何年か前に学校関係の忘年会に行ったときの話です。ひとりの先生がある料理をすすめてくれました。“What is it?(それは何ですか?)”と私が尋ねると、一同パニックになって凍りついてしまいました。「これ、英語でなんて言ったけ?」これは英語の授業でもよくあることで、ある言葉が出てこない生徒たちはパニックを起こしてしまいます。けれど、“paraphrasing(言い換え)”をすることでパニックになることなくコミュニケーションを続けることはできるのです。

忘年会では、私は次々と質問していきました。「それは肉ですか、果物ですか?」「甘いですか、すっぱいですか?」その料理を英語で正確にどう言うのかを知る必要はなく、ただどんな感じの料理なのかを知りたかっただけなのです。これはとても大事なことです。ネイティブ・スピーカー同士でさえ、コミュニケーションが完璧にとれることはまず無いのです。大抵の場合は大まかにわかるだけで十分なのです。

数年前のある週末、とても喉が痛かったことがありました。子供の頃、いつも母が蜂蜜入り紅茶を飲ませてくれていました。それが飲みたくなってスーパーに行ったのですが、「蜂蜜」という日本語が出てこず、店員に「プーさん、わかりますか?」と尋ねました。「(店員)はい。」「(私) プーさん、何を食べますか?」「(店員)蜂蜜ですか?」「(私)そうそう、それ、欲しいです。」私の日本語は下手でしたが、コミュニケーションは成立し、かくして見事、自分の欲しかった「蜂蜜」を手に入れることができました。

どんな状況においても、必要とする言葉が出てこない場合にはパニックにならずに「言い換え」を試みましょう。ほとんどの場合、簡単な英語だけで充分説明ができるはずですから。